

スマートフォンを持つ上で気をつけたいこと

■ スマートフォンの普及とネットトラブルの増加

携帯電話やスマートフォンが急速に普及し、私たちの生活はより便利に、より快適なものになりました。

内閣府の調査によれば、平成23年の高校生のスマートフォン所有・利用率は6.8%、携帯電話は88.8%だったのに対し、平成27年はスマートフォン所有・利用率は93.6%、携帯電話は3.9%と、この4年間でスマートフォンを持っている高校生が大幅に増えたことがわかります。

こうした中、警察庁は、インターネットを通じて18歳未満の児童生徒が犯罪に遭わないよう、平成25年10月から全国の警察で「サイバー補導」を導入しました。平成26年には439人、平成27年には533人（94人増）の18歳未満の少年らが補導されています。補導された少年らの平均年齢は16.5歳（最年少は12歳の中学1年生）で、最も多かったのは17歳の236人です。

■ 無料通話アプリやSNSなどによるいじめ ← **絶対ダメ**

無料通話アプリでは、メッセージのやり取りを、同じグループ内でしか読むことができないため、特定の人を仲間はずれにしてグループを作ったり、招待して即退会させるなど、いじめの手段として使用されるケースがあります。

また、メッセージを読むと「既読」というマークが付き、メッセージを読んだことが分かる仕組みになっています。このことから、メッセージを読んでも返信しない場合は「無視された」と捉えられ、いじめに発展するケースもあります。

さらに、ネット上で「死ぬ」「殺す」等のメッセージを送られたことで、不登校になったり、命に係わる事件（自殺など）が起きたりしています。

■ 見知らぬ人との出会いによるトラブル ← **絶対ダメ**

女子中学生がチャットやメールで知り合った男性から、自分の裸の画像を送るよう強要され、男性が逮捕される事件が起こっています。

また、無料通話アプリのロゴを真似たマークを使い登録を促し、出会い系サイトに誘導する事件も報告されています。手口が巧妙化しており、自分では気が付かないうちに出会い系サイトに登録されてしまうこともあります。

ネットでのトラブルに巻き込まれないためにも、SNS上で安易に個人情報を伝えないことが大切です。